

6月・自然教室チーム報告

育英小学校 校庭自然観察会
夏のならやま自然観察会

『育英小学校 校庭の自然観察会実施報告』

奈良市法蓮町の育英小学校の依頼を受け、6月7日(火)午前11時から12時半までの90分間、同校の1年生13名、2年生16名を対象に校庭での自然観察会を実施した。

近畿地方でも6月早々に梅雨入り宣言が出され当日の天候が危ぶまれたが、午前中は何とか持ち、



突然の大雨となったのは観察会終了後、全員が教室に戻ってから。天も味方する一日だった。子供達は

【カエデのプロペラ飛ばし】 終始ハイテンションで、鏡を使つての自然遊び「ミラーウォーク」では全員が大はしゃぎ、カエデの実をプロペラに見立てて飛ばしたり、クロガネモチの葉で葉巻笛を作って鳴らしたり、どの子も私達の言う事をしっかり良く聞き、自然観察を楽しんでくれました。

当日参加のスタッフは自然教室チームメンバーの中から9名。5班編成の子供達にほぼ二人体制で臨む事が出来ました。観察ポイントは1年生(4ポイント)、2年生(5ポイント)で、合わせて9ポイント。校庭内の植物観察を通じ子供達には充分自然に親しんでもらえたと思います。



【自然工作のお時間】 【個性的な作品群】

教室ではドングリの帽子(殻斗)やカボチャの種など自然のものを使った自然工作で思い思いにペンダントを作ってもらいました。

皆の個性が花咲き、素晴らしい作品が出来ました。是非次回は皆様も仲間にお入りください。

『夏のならやま自然観察会実施報告』

6月8日(水)午前10時、「この指たかれ」とばかり、私達が普段慣れ親しんでいるならやまベースキャンプに20名の会員の方々が参集、この日の自然観察会に参加頂きました。 【当日の参加者】



当初触れ込みの里山山中散策は後回し(観察会の最後には参加者の内有志9名の方に里山内を案内させて頂きましたが)にして、冒頭からならやま里地での植生調査にご協力頂きました。

今回観察会の目的は、普段ならやまに出入り

しておりながらついつい見落としがちな植物に一度じっくり目を向け、私達のベースキャンプを居場所



所としている植物には 【ランチブレイク】

どの様なものが有るのかを知る機会を得ることでした。実際、今回の調査で想像以上にならやまの植生は豊かであると言う事が分かりました。

範囲を里地エリアに留め、時間も午前中の1

時間半と限定したにも関わらず、予想した数字をはるかに超える173種の植物を同定する事が出来ました。その一部をここに紹介させて頂きます。 【タカサブロウ】



アオミズ、ツボミオオバコ、キキョウソウ、ヤマミツバ、カエデドコロ、カニクサ、アゼナ、タカサブロウ、カキドウシ、エノキグサ、等々。

撮った写真の数も優に200枚を越え、今回の調査結果は私達のならやまの自然の豊かさを象徴するものとなりました。さてこれからが大変。自然教室チームでは、これらのデータをもとに当会の誰もが、簡単に植物の同定が出来る写真入り資料を逐一作成して行く予定です。乞うご期待!!

(辻本信一)